

弘南寮寮歌

作詞 国広 理朗(造船24)

作曲 石井 春男(機械22)

- 一. 流るる雲に行く水に 紅深き木群にも
あゝ暮れ易き若き日の
宴の夢をしのばずや
遊子わびしき影長し
- 二. 鐘楼深く緑して 栄枯の夢やいましばし
源家ゆかりの鐘の音も
朝夕の訓しにて
銀燭ゆらぐ我が住家
- 三. 夕べ沈黙に暮れゆけば 鳴くや千鳥の影寒く
荒磯に砕る波に聞け
永久の真理とその声を
ゆきて帰らぬささやきを
- 四. 紫けむる曙の 露もしとどの下草を
踏みてしだきてさまよえば
心の雄琴澄みてなる
夢よしばしは まどかなれ
夢よしばしは まどかなれ